

白杵市 施策評価シート  
(令和2年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	防災危機管理課	中尾 敬	1512

コード	Ⅲ-7-12	施策名	自主的な防災活動及び防災教育の推進
施策の方針	災害に強い組織・人をつくる		
まちづくりの方針	自助・共助の精神を持った市民が暮らす、災害に強いまち(防災)		
5年後のめざす姿	市民一人ひとりが、地震・津波・豪雨災害などさまざまな災害に対して防災意識を身につけられる取組を推進します。すべての住民が「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、主体的に判断・行動し、実践できる体制づくりをめざします。		
施策の内容	地区の防災訓練を始めとした防災活動の推進を行います。また、防災教育・学習の充実・強化を図り、災害に強いまちづくりに取り組みます。		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
家具の転倒防止対策をしている家庭の割合	目標	白杵市よりよいまちづくりアンケートで「あなたは家具の転倒防止対策をしていますか」の質問に「はい」と回答した市民の割合(「はい」の回答数/全回答者数)	割合	▲	34.0	38.0	42.0	46.0	50.0	
	実績		29.8	33.0						
	達成率		-	97.1%						
防災スタンプラリー開催小学校数	目標	多種多様な災害を学習する防災スタンプラリーの開催校	小学校数	▲	13	13	13	13	13	
	実績		-	0						
	達成率			0%						
小中学校における防災訓練を実施校数	目標	年3回以上防災訓練を実施した小中学校数	小中学校数	▲	18	18	18	18	18	
	実績		18	18						
	達成率		-	100.0%						
自主防災組織等の自主的な活動件数	目標	自主防災組織等の自主的な訓練及び研修補助金申請件数	件数	▲	85	100	115	130	145	
	実績		68	22						
	達成率		-	25.9%						
指標の分析	目標		▲							
	実績									
	達成率									

・防災訓練については、定着している地区もあり、「自分の命は自分で守る」という意識が深化しているものと思われます。ただし、令和2年度では新型コロナウイルスの影響により訓練が実施できなかった地区が多くありました。  
 ・小中学校においては、訓練の定着は行われており、さらなる防災教育の充実を図っていくことが求められます。  
 ・小学校スタンプラリーについては、新型コロナウイルスの影響により実施できませんでした。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R2調査)	強化領域	2.64	1.99
市民意識調査結果分析	必要度の高い「強化領域」に位置しており、市民にとって注目がある事務事業となっているので、更なる取り組みの強化が重要と思われます。		

<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	・今年度はコロナウイルス感染症の影響があり、地域での訓練や研修の実施が見送られました。 ・地区の高齢化等により、防災訓練が行えない又は参加人数が少ない地区が多くなっている現状となっています。命を守るためには、まず逃げるという考え方をもち、「自分の命は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」の意識を拡充させるため、多くの市民が参加できるような防災教育の場(出前講座・出前授業)を設けていくことが必要と思われます。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R1年度実績	R2年度実績	R3年度見込み			
1 家具転倒防止対策推進	家具等の転倒による被害の防止又は軽減を図るため65歳以上世帯への支援(補助金)を行います。	防災危機管理課		200	200	200	継続		Ⅲ-7-13
2 小中学校における防災教育及び訓練	小中学校における防災教育及びより実践的な防災訓練を実施します。	防災危機管理課		-	-	-	継続		V-12-27
3 ジュニア防災リーダーの育成	市内の中学校2年生を対象に、次世代のジュニア防災リーダーを育成します。	防災危機管理課		118	118	118	継続		V-12-27
4 防災訓練の強化・充実	自主防災組織や防災士連絡協議会主体に実施する訓練、研修に対し補助金を交付します。	防災危機管理課	○	1,800	1,800	1,800	重点継続		防災に関する組織の育成・強化
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				2,118	2,118	2,118			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	令和2年度はコロナウイルス感染症の影響があり各種訓練、研修が開催しにくい状況となりました。地区住民の高齢化等により、活動が年々厳しくなっている地区もあると思われませんが、家具などの転倒防止対策や命を守るために「まず逃げる」という考えのもと住民主体での声掛け訓練や避難訓練等による、「自助」「共助」のさらなる深化、醸成が重要と考えます。	課長評価	最重点施策であり、来年度強化する
------	---	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

内部評価	令和2年度においても、取り組みを強化して実施しているが、継続した内容が主であったため、重点施策として実施しているものと評価。
------	--

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
自分の命は自分で守ろうという防災意識を高めるため、指標にある防災スタンプラリーや家具の転倒防止対策などは、より推進してほしい。また、日ごろから訓練を行っている認定子ども園などについても指標化等を検討してほしい。大規模災害のための備えが、新型コロナの自宅療養などでも活用できたことから、日ごろから防災意識を高めることが必要だと感じている。	強化

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

優れた取り組みがあれば、市内全域に広げることができるように努めている。取り組みを推進するため、必要に応じて、独自の指標設定も検討していきたい。
---